

第1回 西成区教育行政連絡会（公開の部） 議事要旨

1 日 時

令和7年5月2日（金） 午後1時30分～午後2時30分

2 場 所

西成区役所 4階 4－5会議室

3 出席者

(1) 区役所

区長兼区シティマネージャー兼教育委員会事務局区担当教育次長、副区長兼教育委員会事務局西成区教育担当理事、保健福祉担当部長、市民協働課長、窓口サービス課長、子育て支援担当課長兼教育委員会事務局西成区教育担当課長

(2) 中学校

天下茶屋中学校長、今宮中学校長（新今宮小学校長兼務）、成南中学校長、鶴見橋中学校長、玉出中学校長、梅南中学校長

(3) 小学校

天下茶屋小学校長、岸里小学校、玉出小学校長、橘小学校長、まつば小学校、長橋小学校長、南津守小学校長、新今宮小学校長（今宮中学校長兼務）

4 議事要旨

○ 令和7年度 西成区こども・教育関連事業について

【説明要旨】

・公開の部の資料2～6に基づき、令和7年度 西成区こども・教育関連事業について、子育て支援担当課長より説明を行った。

第三期西成特区構想は、令和5年度から5年間にわたる取り組みとして、「子育て・教育するなら西成区」をめざしており、子育て世帯が子どもの就学を迎える頃に転出する傾向があることから、様々な手厚い教育施策を通じて評価を高め、区内の学校に通いやすい環境整備をめざして、各学校の協力を得ながら取り組んでいる。第二期までは、課題を抱える層への支援を中心に取り組んできたが、学力は、依然として大阪市平均に比べて低い状態であるため、第三期では、課題を抱える層へのフォローアップに加えて、学習姿勢向上につなげるメニューなど、幅広い層への施策を実施している。多くの事業がある中で、学校の協力が欠かせないため、事業の効果検証にも引き続きご協力をお願いしたい。

《西成区こども生活・まなびサポート事業》

各小中学校に登校支援・見守り支援を行う支援員を1名ずつ配置し、電話や家庭訪問等により登校を促したり、学校に通うことができない児童生徒に対して相談対応などを行っている。さらに、小学校には、保育士資格もしくは幼稚園教員免許を有する学習姿勢向上支援員も1名ずつ配置し、学習姿勢向上をめざして小1プロブレムの児童に寄り添った支援を行っている。また、一部の中学校では、校内適応指導教室（スペシャルサポートルーム）に居場所支援員をモデル的に配置している。

《外国につながる児童生徒の学習言語定着支援事業》

生活言語を習得しているが学習言語の習得が不十分な学力に課題のある小学校4年生から中学校3年生までの外国につながる児童生徒を対象に、教科学習を通じて日本語指導を行い学習言語の習得向上を図ることをめざしている。昨年度は日本語指導教育センター校通級終了程度の児童生徒を対象としていたが、今年度は通級中であっても簡単なコミュニケーションが取れる児童生徒も受講可能としている。

《学力分析に基づく演習を活用した苦手分野克服事業》

区内全中学校で模擬テストを実施し、その結果を分析することで、生徒一人ひとりの苦手分野を反復演習し、個人及び学校全体の学力の向上をめざしている。今年度は、演習問題もデジタルドリルを活用して二次元コードで配付され、生徒がより取り組みやすいよう変更している。デジタルドリルは、模擬試験後の苦手分野の演習に限らず早期に使用可能なため積極的に活用していただきたい。

《発展型学習支援事業》

家庭の経済状況にかかわらず本人が志望する高等学校へ進学できるように成績中上位層の学習意欲のある児童生徒に対し無料で発展的な内容の学習機会を提供する。昨年度、小学生を対象とした「西成ジャガピースクールアドバンス」は6か所の会場で実施していたが、今年度は区内全小学校で実施している。また、中学生を対象とした「西成特別進学塾」も、昨年度は1か所での開催であったが、今年度は2か所に拡充して実施している。

《西成区基礎学力アップ事業（西成まなび塾）》

小学校5・6年生及び中学生を対象に、小中学校等で塾等の事業者による課外授業を実施しており、塾代助成を使用すれば実質無料で受講が可能である。

《基礎学力向上支援事業（西成ジャガピースクール）》

基礎学力向上を狙った小学校3・4年生向けの学力習得事業で、夏休みや冬休み、平日の放課後を利用し、小学校で塾等の事業者による課外授業を実施している。

《学習支援サービス（マイクロステップ・スタディ）》

岡山大学が中心となり開発したeラーニングサービスを活用し、教育委員会と連携して実施している。昨年度は、西成区では北津守小学校と他区の生野野未来学園で実施されたが、今年度は、教育委員会において各教育ブロックで1校ずつ増やして実施されている。

《プレーパーク事業》

西成特区構想でめざす子育て世代の誘引定着への動機づけの場となるべく、子どもの生きる力を育む居場所としてプレーパークを実施している。昨年度からは、従来の居場所的要素の強い「プレイス型」と、学習に繋がるイベントを実施して従来参加していなかった子どもたちにもアプローチする「体験型」に分けて運営している。今年度は区制100周年を迎えるため、区民まつりに合わせて、隣接した会場に様々な催しやステージなどを設け、子どもたちへの事業を展開予定である。

《西成区こどもの読書活動推進支援事業》

読書のきっかけづくりとして、年間の読了冊数の目標を定め、その目標を達成した者を表彰する取り組みを行っている。今年度は、就学前の子どもたちにもこの取り組みを拡充し、早期からの読書習慣の醸成を支援する予定である。

《キャリア教育推進支援事業》

区内中学校の授業に大阪市が連携協定を締結しているプロスポーツチームよりゲストティーチャーを招く事業で、1年間で3校実施し、2年間かけて全中学校で実施している。

《大阪フィルハーモニー交響楽団出前授業事業》

西成区を拠点に活動する大阪フィルハーモニー交響楽団による出前授業を実施している。演奏の鑑賞と演奏家のキャリアについての話を聞くことで、地元の魅力の再発見やキャリア教育の観点も含めて小中学校を対象に実施しており、2年間かけて全小中学校で実施している。

《西成しごと博物館》

大阪府中小企業家同友会西成住之江支部と連携し、地元企業に出展いただいて様々な職業体験を子どもたちに経験してもらう事業で、今年度は秋に実施予定で調整している。

《帰国・来日等のこどものコミュニケーションサポート事業》

帰国・来日等の児童生徒で支援が必要な場合に有償ボランティアを派遣する事業で、報償金は1時間当たり1,100円から最低賃金に合わせて1,200円に変更している。交通費については、昨年度から変更なし。

《小・中学校サポーター登録事業》

学校で幅広い分野で活動していただけるサポーターを募集しており、帰国・来日等のこどもコミュニケーション事業のサポーターとして活動いただくこともある。大阪市と連携協定を結んでいる(株)YOLO JAPANの外国人求人メディア（YOLO WORK）を活用して積極的に募集に取り組んでいる。

【主な意見・質問】

・今年度、南津守小学校に図書司書が週4日配置されることとなり、読書に関する取り組みを進めている。その中で、昨年度末に大阪市総合教育センターが進めるOEN（オーエン）という企業と連携したプロジェクトがあり、ジュンク堂書店において、当校児童が選んだ本を展示販売できる機会を得た。図書委員会での話し合いの結果、市内の他の3校と共にこの取り組みに参加することに決まり、子どもたちも意欲を見せている。これにより、読書活動が活性化し、子どもたちが自信をつけ、その取り組みが校内でも広がっていくことを期待している。

・玉出中学校の生徒が、参加者が読んだ本を紹介し聴衆が読みたい本を選ぶビブリオバトルの全国大会で宮澤章二さんの詩集『行為の意味』を紹介して優勝した。この詩集は震災後に広告で使われたフレーズで知られている。指導した教諭は本好きで、自分が読んだ本を教室前に置いて生徒たちに貸し出しており、尼崎市にある書店で行われたビブリオバトルからこの活動に関心を持った。その書店とオーナーはドキュメンタリーや文庫本になるほど注目されており、演劇部の顧問でもある当該教諭は、オーナーの半生をモデルにした演劇を大阪府の演劇祭で発表して3位に入賞した。当該生徒は野球部であるが、演劇部員から親身な助言を受けてスピーチ力を高め、滔々と語る言葉に多くの方たちの思いが乗り、参加者の心を動かしたと思われる。今年度は他の学年も参加できるよう校内で取り組んでいく予定である。

・鶴見橋中学校では、今年度に昨年度から区役所より勧めていただいたデジタルドリルを使用したモジュール授業を進める予定である。この授業形態では、授業を15～20分程度に区切り、生徒が自分の得意分野や不得意な分野に応じた学習内容を選択することができる。特にこのデジタルドリルではアバターを選ぶことができる遊び心あふれる要素もあり、他の教材と比較して生徒がより集中して取り組むことが可能である。市内の他の教材と比べても、本校の生徒に適していると考えている。また、家庭に持ち帰って自主学習に活用することも検討しており、不登校の生徒に対しても有効であると考えている。通常の授業では読み書きを重視しており、このデジタルドリルと併用することでの相乗効果を期待している。家庭訪問の期間を活用して保護者にチラシを渡し、実施に向けて説明を行っている。

○ 令和7年度 実施事業に関する区役所からの連絡事項

【説明要旨】

・公開の部の資料7に基づき、西成区役所窓口サービス課長より、資料8～10に基づき、子育て支援担当課長より説明を行った。

《学校選択制の学校案内作成》

学校案内の原稿作成依頼。5月16日（金）が締切。

《学校協議会新任委員説明会》

6月に3回開催する予定。新任委員への案内配付を依頼。

《教科書展示会の開催》

6月13日（金）から約1か月間、西成区役所5階52番窓口待合スペースで展示。

《教育行政連絡会の開催日程》

本日を含めて、7月中旬、12月中旬、令和7年2月下旬の年4回の予定。

【主な意見・質問】

・なし

第1回 西成区教育行政連絡会（非公開の部） 議事要旨

1 日 時

令和7年5月2日（金） 午後2時30分～午後3時15分

2 場 所

西成区役所 4階 4－5会議室

3 出席者

(1) 区役所

区長兼区シティマネージャー兼教育委員会事務局区担当教育次長、副区長兼教育委員会事務局西成区教育担当理事、保健福祉担当部長、市民協働課長、窓口サービス課長、子育て支援担当課長兼教育委員会事務局西成区教育担当課長

(2) 中学校

天下茶屋中学校長、今宮中学校長（新今宮小学校長兼務）、成南中学校長、鶴見橋中学校長、玉出中学校長、梅南中学校長

(3) 小学校

天下茶屋小学校長、岸里小学校、玉出小学校長、橘小学校長、まつば小学校、長橋小学校長、南津守小学校長、新今宮小学校長（今宮中学校長兼務）

4 議事要旨

- 令和7年度 西成区こども・教育関連事業の達成目標等について

【説明要旨】

・非公開の部の資料1「令和7年度 西成区こども・教育関連事業の達成目標等について」に基づき、教育支援担当課長代理より説明を行った。

【各学校からの主な意見・質問】

- ・令和7年度 西成区こども・教育関連事業の達成目標等に関して内容を確認する質問があった。

- 教員の働き方改革に関するチラシについて

【説明要旨】

・非公開の部の資料2「教員の働き方改革に関するチラシについて」に基づき、子育て支援担当課長より説明を行った。

【各学校からの主な意見・質問】

- ・なし